

2009
新年号

Vo L 18

ひだまり



宮城県立がんセンターボランティア「ひだまり」平成21年1月15日 発行
編集責任者 「ひだまり」編集委員会

いぎで実た分て手
るやは際りにた紙ボ
よ励なそす何だをラン
うまいのるかお見
なしの場こか花と
気がでとたにと
が暖すがあか入ふさん
しかがボありけつとん
まさ、ラリまてた、が
すな耳ンすいりご廊
。どにテ。る、く下
の聞イ。よ絵短な
メこア。う手いなど
ッえさ。な紙時に
セルん。に間、飾
ー声と。そ書、つ
ジで言。そんい、て
をは葉を。なて分
送な交。気あの
ついわ。持る現
て形。ち言状
もでし。に葉を
ら、た。なが
っ安わ。な忘
てらけ。つ自
れ

立ち止まってみると

臨床心理士 三浦 宏明

ラン も気でしあまて
ないそ色、、っうい忙
いん々つす暖たこるし
声アなあかでかのもか
まさこのいそとあるに
でんとのかばな思るも
気にをかけにりうの気
づ感考もけである、す
け謝えしそつる、つ
るしきまこのう分、ず
よっつせにのうふ、で
うっかん。とともとそ
な心け。と思のつづま
れ理を作。いう見え安く
た士とっ。うこしたなぎ
らとしてく。とが。い
思てもれたが、だ励そ
いま声たす。に他。けま
。なラににに

特集 昔話・朗読ボランティア 緩和ケア病棟

平成19年4月から緩和ケア病棟で、方言での昔話や童話の朗読などのボランティアを行なっています。
毎週水曜日 緩和ケアのティーサービスの時間帯(午後2時30分～)に、お部屋やラウンジでコーヒーの香りとともにお話を楽しんでいただいています。
今回は担当ボランティアの1人、金岡律子さんを紹介いたします。

香ばしいコーヒーの匂い、陽の光がさしこむ明るい部屋で、その時 その時が大切な時間となっている患者さんと、ご家族の方々に民話の語りのボランティアをしています。

むがあーす むがあーす ある所に おじいさんとおばあさんと孫がいたと・・・子供の頃、おばあさんの布団にもぐりこんで昔話を聞き、知らず知らずのうちに、お話の中にひきこまれていく遠い遠い昔の、そんなことが懐かしく思い出することが出来たでしょうか。

患者さん方が少しでも安らぎと明るい笑顔になれるよう、そして人と人とのつながり、出合いを大切に楽しい昔話を語っていきたいと思います。

(金岡 律子)



ボランティアひだまり活動内容

(外来活動)

外来受付補助・各科受付診療場所案内・花壇やロビー花の手入れ・外来図書整理

(病棟活動)

病棟移動図書・CD貸出・手作り帽子やネックエプロンの販売・押花製作

(緩和ケア病棟活動)

中庭手入れ・ラウンジや廊下の花活け・ティーサービス・季節の行事手伝い・本の朗読・絵手紙教室(イベントなどの活動)

絵手紙講習会・ロビーコンサート・ギャラリー展・機関紙発行・各種講習会



コラム ひだまり

～大切な時間～

今まで忙しい生活をしてきた私にとって仕事を離れた今、時間がゆっくり流れています。そんな中で、大切にしている時間が愛犬ハルとの散歩・・・季節の移り変わりを肌で感じたり、空の青さに感動したり、野の草花に目を止め眺めたりしていると、心が豊かになっていくような気がします。

そして、もうひとつの大切な時間は、昨年11月から始めたボランティア…私も一員に加えて頂き、さまざまな活動があることに驚きました。ボランティアの方々一人一人の心配り、想い、願いを強く感じ、「ひだまり」の中で活動できることを、とても嬉しく思っています。

みなさんに出会えたことに感謝！

(氏家 洋子)



がんセンター1階エレベーター前で開催している「ギャラリー展」に、最多展示されている名取市の『ゆりあげざっこ写真会』をご紹介します。

ギャラリー展予定

1/27～2/10	名取市写真愛好会 作品展
2/17～3/3	フォトサークルいきいき 作品展
3/10～3/24	卓仙会 水墨画展
3/24～4/13	フォトクラブ中山 写真展

スポットライト

ゆりあげざっこ写友会

平成12年より年2回展示させていただいております「ゆりあげざっこ写友会」の紹介をいたします。

* 「ざっこ」の名称考

本字は「雑肴」であり、魚の種類大小取り混ぜた総称であります。それが訛って「ざっこ」になりました。「ざっこ」は、何でも一堂にという広い気持ちをもっている言葉でもあります。「ざっこ」の前に地名の「ゆりあげ」を、「写友会」を後に付けたのであります。

* 癒しのスタイルと写真

私たちは、写真により人の五官のうち視覚を通して季節感や、その他日常接する平凡な被写体をいろんな角度から取りあげています。それを入院されている方、通院されている方々に見ていただき、その中から皆さまの「癒し」として心に留めるものがあればと存じております。

今後とも皆さまのご鞭撻をお願いします。

(ゆりあげざっこ写友会 メンバー)
三宅 俊昭

病棟に薄き日射や春隣
貼り紙の句会の知らせ千代の春
朝の雪肩にひとひら舞ふごとし
人の波買はずに疲れ年の市
岬まで続くかぎりの野水仙
初春や雲ひとすじの沖はるか
憂き事もすべて収めて今朝の春
かじかむ手息ふきかけて登校す
北風に自転車娘の赤き頬
箱根路を韋駄天駆ける二日かな

ぶえつ ゆきこ 典子 栄子 利子 いずみ サチ 米子 晴美 順子



編集後記

雜感

昨年十二月に、ボランティア室からお借りしていたCDが
 二枚、私のところで年を越してしまいました。中国の女性十二
 人が演奏する軽快な音楽と、しっとりとした大人の女性歌手の
 もの、手でした。それらは、私の年末年始の仕事のBGMとな
 り、今年、ボランティア二年目となりました。週に一度のミシン
 かけ等は、とても楽しみの生活の一部となっています。ミシンか
 けの方はCDを聴きながら上手に手早くとは、なかなかできま
 せんが。今年一年、又心を新たに生活して行きたいと思っています。
 よろしくお願いします。

編集委員 (五十音順)

(担当 齋藤 みき子)

遠藤典子
高泉武悦

前田利子

齋藤みき子

佐々木サチ